

議会による地方創生推進交付金実施事業、みたけ創生!!総合戦略ほか効果検証

《全員協議会にて》

令和元年5月24日（金）午前9時00分～

出席者：町長、副町長、総務部長、企画調整担当参事、企画課長、企画調整係長  
町議員 11名  
議会事務局 2名

※別紙資料に基づき企画課より全体を説明。…企画課長及び企画調整係長説明

【レンタサイクルについて】

《高山副議長》

総合戦略に記載されている「レンタサイクル」の利用状況だが、利用状況が減少している要因は何か。

《企画調整係長》

有料化に伴い、一時的に減少しているものと捉えている。

《高山副議長》

利用に際しての金額や時間制限を設けているか。

《企画課長》

時間制限はあるものの、1回につき500円で利用が可能となっている。

《大沢議員》

常時利用可能な状態となっているか。

《企画課長》

観光案内所の定休日以外は常に外に数台出しており、残りの在庫はいつでも出せるように倉庫に用意してある。

《安藤（雅）議員》

利用者としてはどのような方が多いか。

《企画課長》

観光客が主である。

【ITプログラミング人材育成事業について】

《大沢議員》

開発したアプリのダウンロード数は把握できるか。

《企画調整係長》

アプリ配信元にアクセスすると確認することが出来る。現状確認中である。ただ、ダウンロードが一定数を超えてくるとダウンロード前の配信画面に評価と

して星印が示され、ものによってはダウンロードした方のコメントが記入される。確認したところ、一定数はダウンロードされている背景が伺える。

《岡本議員》

開発したアプリ等の PR は地元 FM を通じて知ることが出来たが、それ以外に手段を考えているか。

《企画調整係長》

FM ラジオ局以外に地元ケーブルテレビ局等のメディア及び SNS を通じて広報を展開している。その他の事業も含め、フリーペーパー等に無料掲載スペースがある場合は活用させてもらっている。

### 【移住者について】

《岡本議員》

移住者数は把握しているか。

《企画調整係長》

これまで県下で移住者のカウント手法が統一されていなかったため、当方では空き家バンクを活用した移住者でカウントしており、資料 4-1 中の KPI である移住者数の 6 名である。別途、町として転入者等に対してのアンケートを窓口に設置し、傾向を調査し始めたところである。

《岡本議員》

空き家バンクを利用して移住された方は世帯で移住された方か。

《企画調整係長》

多くは単身者である。

### 【その他】

《高山副議長》

多々事業を展開してくれているが、議員が参加できるものについては周知機会を増やしてほしい。